

想定海域（案）検討の進捗状況について

1 経緯

- 第2回部会において、想定海域（案）設定の手順を確認した。
- 海域の現状を把握（資料3-2参照）するとともに、先行利用者である漁業者等との調整を行った。

2 想定海域（案）の提示

- 山形県漁業協同組合から、想定海域（案）が提示された。

＜山形県漁業協同組合から提示された想定海域（案）＞

酒田地先の共同漁業権漁場（海共第2号）の区域内を、想定海域（案）として提示する（資料3-3参照）。

※ 想定海域（案）の検討において漁業者より出された意見

- ① 今の段階で水深 20m、45m ラインは刺し網、蛸箱漁業で使用頻度が高い。将来的な検討案には柔軟性を持たせたい。
- ② 酒田港を基準にカミ、シモ漁場は25ヒロ以深、水深 37mより沖側は浮き延縄漁場で影響がある。
- ③ 共同漁業権漁場の区域の外 5,500m 迄も検討に入れるべき。

3 想定海域（案）について

- 山形県漁業協同組合から提示された海域を想定海域（案）と設定し、検討を進めていく。

-  国定公園区域
-  漁業権漁場 (共同)
- 船舶通航量
(2014年1月～12月)
 6-30(隻/月)

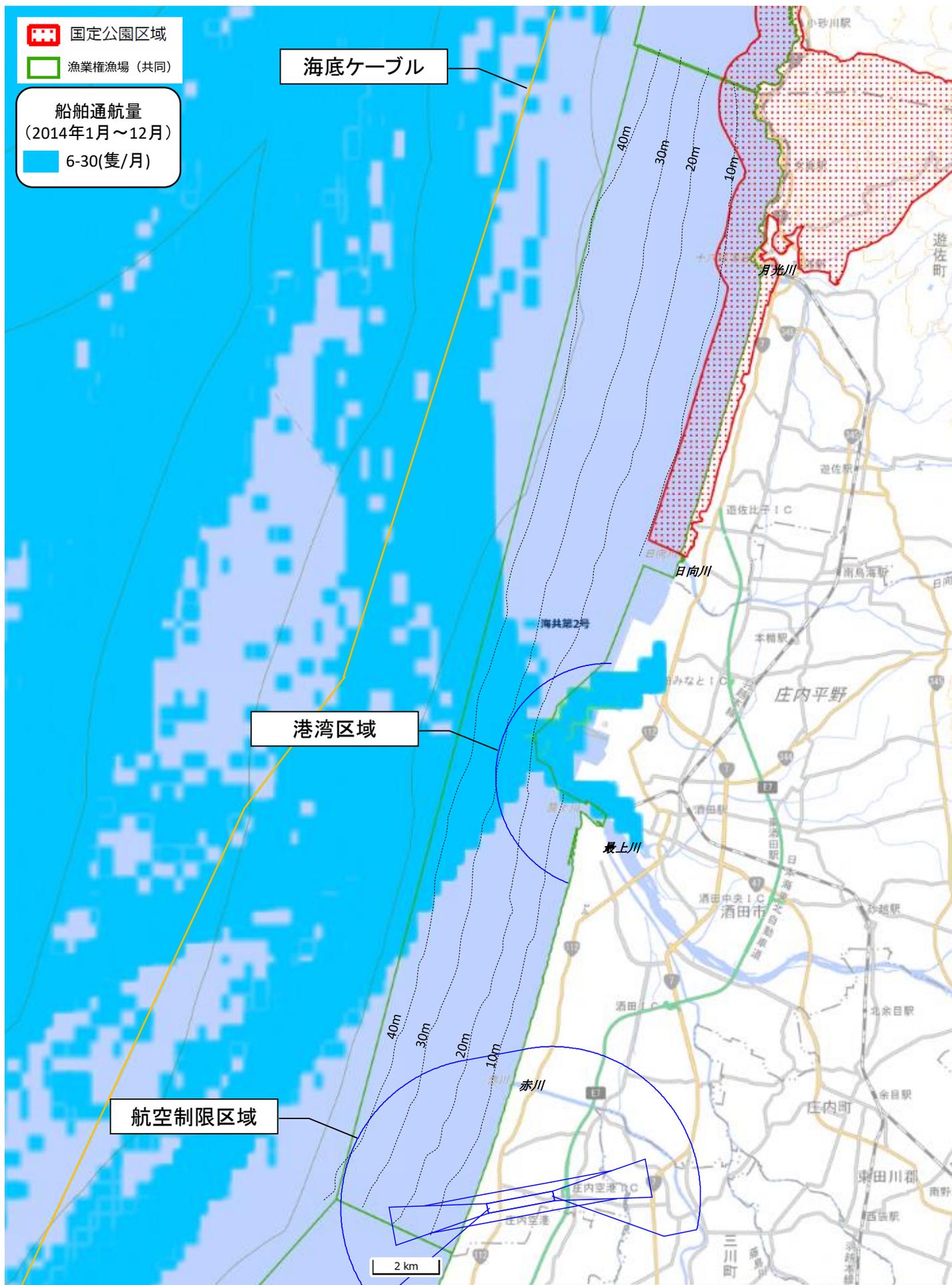
海底ケーブル

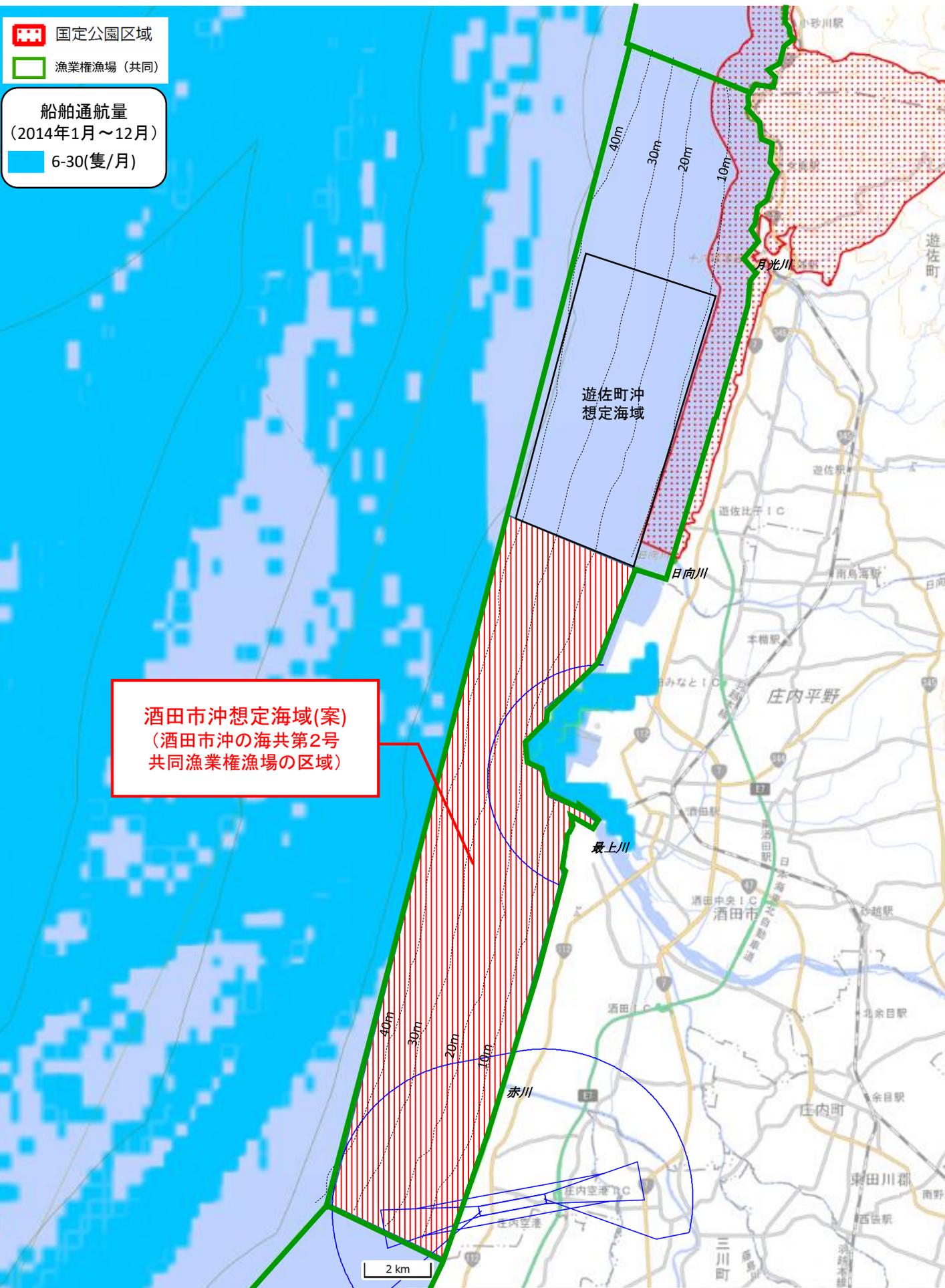
港湾区域

航空制限区域

2 km

【出典：NEDO NeoWins(洋上風況マップ)等を元に作成】





酒田市沖 想定海域(案)
(酒田市沖の海共第2号
共同漁業権漁場の区域)

【出典: NEDO NeoWins(洋上風況マップ)等を元に作成】